婦人新報

拾二月號

第貳百八拾號目次

□英文
□報告通信
□私の村にも矯風會を　竹内愛泉
□炭谷小梅姉の永眠を惜しみて　渡邊常子
□上州部會に出席して　宮川靜枝
□小さき兵士　二階堂みよ子
□殿で只今歸りました　ガンドレット恒子
□慈愛館と日本救濟團　守屋東
□信の勝利　久布白落實
□天地の榮をうけて　矢島楫子

基督敎婦人矯風會

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

□□矯風會販賣圖書目錄□□

□バトラ夫人傳　矢島楫著 (50)
□性慾と健康　小松武治著 (60)
□父　久布白落實著 (200)
□小草　金澤氏著 (100)
□基督教の新建設　久布白直勝著 (150)
□イスラエル物語　大橋房子著 (200)
□葡萄の花　大橋房子著 (200)
□傳道用小冊子　各種
□禁酒演説集　二部宛
□禁酒軍歌　數種
□御注文次第お送り致します

婦人矯風會本部
赤坂、新町三ノ四六

社告

□婦人新報定價（郵税共）
一年分（前金）金壹圓八十錢也
半年分（前金）金九拾錢也
一ヶ月分（前金）金拾五錢也

□廣告料（郵劵代用一割増）
一行（五號活字）金參拾錢也
一頁　金五圓也
半頁　金參圓也
四分ノ一頁　金貳圓也

振替口座東京三二四六九
電話芝、六八六〇番
編輯及事務所　婦人矯風會本部

大正九年十二月二十日印刷
大正九年十二月二十日發行
發行兼印刷人　矢島楫
編輯人　守屋東
發行所　婦人新報社
東京赤坂區新町三丁目四十六番地
婦人矯風會事務所
印刷所　福音印刷株式會社
東京京橋區銀座四丁目

No. 280　　Dec., 1920

WOMAN'S HERALD.

CONTENTS.

1. Rejoicing in the Glory of Heaven and Earth. Madam K. Yajima.
2. The Victory of Faith..................Mrs. N. O. Kubushiro.
3. Jiai Kwan and the Japan Rescue Mission...Miss A. Moriya.
4. I am Back Home at Last ....Mrs. T. Gauntlett.
5. The Little Soldier Five Sen Bags...Miss M. Nikaido.
6. Visiting the Joshu Bukai ....Miss S. Miyagawa.
7. Our Friend Madam Sumiya.........Miss T. Watanabe.
8. A Voice from the village ....Mr. Takeuchi.
9. Reports
10. English

FUJIN SHIMPO OFFICE.

No. 46, Sanchome, Shinmachi, Akasaka,

Tokyo, Japan.

Digitized by Google　　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

天地の榮をうけて

會頭　矢島楫

あめつちの榮をこゝに集めてん
ひさのみ入るゝ住家なれども、

此歌は私が初めて日本の婦人矯風會の本部事務所が出來ました時、心のそこから感じた思を讀んだものでございました、さゝやかな此住居、此建物、然しこの家こそ天地の榮を集むる處だと信じたので御座います、以來此家に起伏して暮して居りますが、今年位眞に此歌の通り實行された年はございますまいとおもひます。今年位私の生涯にあつて珍らしい年もありませんでした、三十日程を經れば大正九年も終つて大正十年を迎へるのでございますから、此生れて以來初めて迎へた大正九年を顧みてお語する心になつたのでございます。

私は此年が私の最後の年となつても露おしむ處はありません、實に生涯になすべき事を今年は徹底的にさせて頂いたといふやうな氣さへ致します。

人心は動いて居る

地方が矯風會に對して興味を持つやうになつた事は實に驚くばかりでございます、只かたい／＼地盤の底にジツトして動かなかつたものが、一度其地盤に龜裂が生じて強固な表面がとりさられた後のやうに、其動かなかつたものが、自發的に動くやうになつて來ました、女だから、主婦たかし、家の仕事を終へてからと、種々樣々な地盤が、一度打ち碎かれた今日は、眞に目覺しい活動となつて來たのでございます、矯風會を起してこゝに四十年、顧みれば此强い堅い地盤の一隅をねらつて打ちこんだ其槌おとは今初めて耳に聞えるやうになりました、反響もあるやうになつたのでございます。

各國各長處あり

私は本年英國に渡り、米國を巡廻して出來る限り見て來ました、勿論言葉は通じませんし、足は健ではありません、然し私の全身全靈は悉く

Digitized by Google　　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

感覺となつて、小さい音も、高い處も見る事が出來、識る事が出來たのであります、實に世があけたやうな感じが致しました。幸福な事でございます、立派な博士に御面談して討論したのでもございません、大學の講義を拜聽したのでもありません、それは〱只ポカンとして、二萬哩の地域を巡り、數十萬の人に見られ、また感ずる處を語つて參りました、そして私の心に得た事は何であるかと申ますと、それは別に新たなる事でもありません。

英でもない、米でもない、日本は日本である、日本の良い處を識つて其善い處を發達させてゆくのでなければならない、其爲には常に生きて居らなければならない、生きて生活しやうとするには、此度の旅行によつて見聞して來た事が、どの位幸福であり、また參考になる事かしれないのであります、光となつて私の心に照つて居ます、生の源となりました、然し私は此爲に特に永生したいと思ひませんが、生きる上に實に喜びと感謝とを持つのでございます。

凡て理解しました

旅行中に私は此上ない待遇を各處でうけました、また金を與へられました、愛せられもしました、然し其事が私にとつて此上ないよろこびではありません　私がうれしく思ふた事は、自分自身の心に言ふ事の出來ぬ安心を得た事でありました。なぜ安心を得たかと申ますと、それは凡ての事がよく解つたからであります。

四五年に渡つた大戰爭があつた、多くの人が死にまた傷いた、家庭は悉く寂しいものになつた沈みかへつて音もないといふ有樣に見える、然し決して浮足になつた處を英國に見出す事は出來ないのでございます、保守といふ一點は充分認める事が出來ました、其間にあつて事をする婦人の態度、價値また實行を見て婦人參政權を叫びまた獲得した事が充分に讀めました。決して英國民は流行兒ではありません、たしかに保守主義の國民です、世界に冠して婦人參政權を叫んだのも、婦人が起たなければならなくなつたからでした、忍ぶ事が出來ぬ點まで達したからでした、凡て實行は出來上つて居

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

たのでした。教育も富も、また德も。

沈着な國民性

赤十字の祖、フロレンス、ナイチンゲール孃の如き人格者を出した英國民は其孃に對して百年祭の時初めて贈位といふやうな形式をとつたと申ます、孃が神の愛キリストの教に從ふて、戰場に赴き悲慘な死傷病者の間に立ちまざつて働いたあの功績に對してさへ、其當時ビクトリア女王の時代にあつては、前例なき事といふ保守主義者の一言で何等其勳功に對する褒賞の事がなかつたといひます、若しこれが他の國にあつて見れば如何いふ風に孃を遇したかといふ事は想像されると思ひます、漸く近年に至つて孃の功績をほめたゝへて滿足する英國民の國民性を私はよく識る事が出來ました。

國の良き風儀

日本の留學生に澤山おめにかゝりました、其人達は自分の下宿のよい事と其家人の親切とを言葉をつくして申されました、そして其人は日本に歸つたとき「私の居た家は實にいゝ家庭です、あの家にあなたも下宿をなさるといゝでせう」と紹介なさるのです、然し、下宿して居る人に聞けばどの人も各々其下宿して居る家を賞めない人はありません、私は英國民の風儀が斯うしていゝ事を證明されるのをうれしく思ひました、別段下宿人を特別取扱してよく言はれるのではなしに、皆どの家でも家庭の一員として何事も同じやうに取扱かつてゆく處に、居りごゝちのいゝ我家のやうな良い感じを與へられるのでございませう、大に學ばなければならない處でございます。

世界は皆兄弟

永い旅を終り無事に其住居に歸り、此年の賜を顧みたとき實によき年感謝の年であつたと思ひます、神の愛、人の惠によつて生くる事の尊さと、生きて働く愉快とを確得し、更に此世界が數年に亘る大戰爭の結果、懼れと苦しみと悲しみとに閉ざされたやうに見えますが、實は是れによつて眞に進む途を見出したのであると思ひます、各國民はよりよき世界を作らん爲に各自發的に進む事を識り、健實な日常生活を營む爲に一日〳〵を送る人が多くなつて來

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

た事を見て只々感謝に滿たさるゝのでございます、世界は皆兄弟姉妹、互に助け導いて眞に神の國と此世をなす迄働らかなければなりません、此蒲團は横濱支部の會員が私の八十八の祝に皆で寄つて縫ふて送つて下さつたものです、小さい切を縫ひあはせて此蒲團が出來上つて居ます、一枚の蒲團ですがよく私の心を表はして居ります、此世界も此蒲團の如く一つになつて用をなすべきはずでございませう。

□　□

米國で今度新らたに選擧權を得た廿壹才以上の婦人は二千六百萬人です、この人々が力を盡して禁酒法案の實行に盡して居ます

和歌

矢島楫

百七十一日間歐米漫遊の感

四海みなはらからなりと今ぞ知る
隔てなき世は關もとさゝす

年末の感

一里きて今朝一休み元日や
背負し米は未だおろさねど

□□講演旅行（大正九年十月末より同十一月迄）

一、會頭 矢島楫子
一、法律部長 渡瀨かめ子（十月二十日十一月三日迄）

兩姉は、大阪神戸、堺の三支部より招かれて講演に行かる、三支部とも兩姉の歡迎講演會あり、大阪にては市長其他各種の代表者の歡迎の辭ありて公式のものなりき、堺市にては女學校を開放して宗教的の歡迎講演會開かれたる由。

一、矢島先生に隨行して守屋東少年部長は九州部會に出席、十月五、六の兩日盛なる部會九州門司支部に於て開催、九州各地の代員出席、歸路戸畑の明治專門學校青年會主催の講演會に出席、つゞいて岡山支部、及京都支部にて集會をなし十一月　日歸東、竹崎遂子松岡淺子兩姉見學の爲隨伴さるし講演さる。

一、吳支部長 十時菊子
一、大阪支部長 林歌子

兩姉は九州部會の招聘に應じ出席し講演さる、夜十時姉は九州各支部を訪問して十一月中旬歸吳さる、林歌子姉は臺灣に渡航し同地各方面に運動され歸路再九州の一二支部を訪問講演して十二月上旬歸坂。

一、矢島會頭に、宮川靜枝姉隨行して上州部會に十一月廿日出張さる。

一、守屋東、二階堂みよ子 十一月廿六日より廿八日まで靜岡及小山に出張講演す。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

信の勝利

久布白落實

冒險の一ヶ年

一月より十二月までのプログラムを一瞥して、私の心にきらめく一語は、冒險の一ヶ年と云ふ事です、昨年の秋、英京倫敦に、萬國矯風會大會開催の聲をきいた時、私の心に電氣の如く來た事は、今度は是非とも代表者を送らねばならぬと云ふ事です、私は千駄ヶ谷の原を往復しつゝ、獨り祈願を籠めて居りました、然し人は誰？金は何處？大なる二つの疑問を以つて祈はつゞきました、昨年十月の常置員會に終にこの事が提出されました、守屋姉、ガンドレット姉と人選は定りました然し、事は未だ〱遠く見えました。暗きを探ぐりつゝ年は暮れ、二月七日の朝、ゴルドン女史の手紙は遂ひに守屋姉の決心を堅めました、姉は其時申されました、私は母が有る、どうしても行かれませぬ、然し必らず代員は送りませう、姉は直ちに會頭に御話して臨時常置員會は開かれました。

三人の代員と壹萬三千圓の旅費

其時私は家居の身でした、守屋姉は毎夜、九時、十時に私の戸を敲いて、一日の事情を知らせて下さいました、「局面開展よ、矢島先生が御出かけなさるのよ」「喜んで下さい、渡瀨さんが行かうつて」と、先生の如き眞正面から「先生！それはコンモンセンスが有りますまい」と直なる反對の言葉をきゝつゝ平然として、「私は參ります、どうぞ遣つて下さい」と申されました、愈々人は出來ました、金は？先生が「行く」と申された一言に、守屋姉は天の力を感じられました、事成ると信じて立たれた時姉の武者振ひは勇ましいものでした、「先生がお出でになるなれば、金は拵らへます

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

と云つて、其日から姉獨特の、電光石火の働きは始まりました、無論、小崎、田口其他の方々の熱心なる協力は有りました、外務省にゆき、內務省に行き、富豪にゆき會員にゆき、この三週間の働きは知る人ぞ知ると云ふ可きでした、船が明後日と云ふ時に、六千圓と云ふ聲をきゝました、明日と云ふ前夜私は堪り兼ねて電話にゆき、「どうです形勢は？」と尋ねました、其時晴やかな聲で、「感謝して下さい、只今までに壹萬千圓です」と云ふ守屋姉の聲でした、私は電話器に握手したいやうでした、「萬歲!!」と云つて私は家に歸り安き眠りにつきました、冒險の一幕は信の勝利の裡に徐ろに閉ぢました。

老會頭の讚美

一千九百七年の秋、今より十四年前、私は會頭に從ふてボストンの大會に出席しました、其節會頭は、英米の代員の手を握つて、「今度は英國で亦お目にかゝりませう」と申されました、其時先生は滿七十三才、責任ある代表者としては最高齢の一人でした、元氣な人と云ふ以上に誰れもそれを事實として考へないやうでした、然るに十四年後の今日、八十八才の齢を重ねて、昔日の如き精力を以つて大會に出席せられたのは、ゴルドン女史を始め多くの世界の代員に取つても驚きで有りましたらう、三月十三日の解纜より九月四日の入港まで、この偉大なる冒險は最も自然に日月の運行の如く音もなく行はれました、祈りと感謝に送り迎へられて、第二の冒險は終了しました。

母を送り眞人を葬る

守屋姉の親子程不思議な人々を私は餘り見た事が有りませぬ、「お母さん行つて參ります！」と云つて卅幾つの娘御が家を出られると、ニッコリ笑つて、大きな、白髮な母上は、やをら其肥大な身軀で立ち上り、「行つていらつしやい」と云つて、おじぎをして、それから二人で握手してそれから長い顏をして、それから何でも半ダース程のお出かけの禮式がすんで、やつと角を曲がると、きつと其處に母上は立つてそして最一度「左樣なら」をしなければお出しなりませぬ、これ程大事

な娘御を「御用です」と云ふ一語では、十日でも廿日でも壹ヶ月でも私なく手離されました、米が六十錢する時でも、朝々雀に一握りを振舞つて、「此れは供養だ、お前が旅に出ても不自由せぬ爲だ」と云つて居られました、先生方の旅費運動の際、母上は恰も武士を戰場に送る人のやうに、嚴肅な祈と周到な注意で守屋姉の前後を取廻いて居られました。

三月廿七日の夜、守屋姉の母上が御不加減と云ふ報知に、私は無言で家を驅け出しました、角で丁度と事務所歸りの守屋姉に會し、「お母さんが」と云つてあと默つて、二人で暗やみをついてミラー氏の家に入りました、この時、お母さまは「今夜は久々振りで東も歸りますから、宿泊りに來て下さらないでもよろしう御座います」と云ふ使ひに御出になつて其處で卒倒せられたのでした、其後十日間の事は何時か委しくきく時が有りませう、心行くばかり娘を捧げ、更らに自由な奉仕をさする爲めに、母上は四月六日の朝安らかに天國に歸られました。

其後二ヶ月して私は良人を葬りました、風雨はしたゝかに私共の心身を打ちました、涙の洗禮は、奉仕に必要でせうか?。

慈愛館

問題は次から次へと、提出せられます、三十年間、矯風會の名の下に、大部分外國の金と、人と、導きとに由つて經營せられて來た慈愛館は、右せんか左せんかの岐路に立つて居ります、即ち、此の事業の爲めに、人と金とを供へて大々的に盡さんとして居る、日本救濟團に大久保の全財產、土地、家屋、諸道具、凡べてを提供せんか、或ひは、此の土地財產を賣つて、此度は日本人の監督の下に日本人の經營にて新に始めんかと、云ふ事です、無論理事、委員諸姉の考へによる事ですが、慥かに重大なる問題と思ひます。

我國より公娼を全廢せんとする願望を持つ私共に、一度淪落の淵に陷るの余儀なきに到りし同性の姉妹等を理解する事が出來ないでせうか、この人々の前に在る棘荊を開き、其弱りし足を導いて、正路に歸らする

事が全然不可能でせうか。私共はこの五萬の不幸なる姉妹等の救濟を、全然外來の資と、人とに仰がねばならぬでせうか、理事は今や此の岐路に立つて考慮の最中です、私の心は光を求めて、天の導きを祈つて居ります、人は何處?、金は何處?、若し「爲さゞる可らず、爲す」との確信が私共の唯一人にでも來る時は、人も出來り、又金も出來ります、慈愛館は、宿題として、全國に在る、我等矯風會員の前に投げ出されて居ります。

眼前に在る二つの冒險

公娼全廢教育運動を起ししよりこの方、私は最も小心翼々として少さき兵士の行動を監視して居ります、第一年には五錢袋は全國の支部と親しき友人とに送られました、第二年に及び支部の外に三百の教會と、婦人會とに送られました、第三年目に、全國の支部、青年部、女學校及び大多數の教會に送られ、第四年目に、支部青年部は全體　全國千有餘の各派の教會全體、及び米國、朝鮮、臺灣、大連等にまで送られました、今年は五年目です、私は今日まで會員と信者と、教會との外に一歩も踏み出しませんでした、然し、公娼の恥辱と苦痛は基督信者に限りませぬ、全國の婦人の苦しみです、全國の志士の嘆きです、今年始めて、二階堂姉の手より全國の青年男子即ち各地の大學、高等學校、専門學校等の基督教青年會の團體に宛てゝ送られました、そして前號にも記しました通り更に進んで、全國の市町村に渡る處女會に同志募集の手始めをする運びになつて參りました、此の畑は大なる畑です、この地は未知の境域です、良き種子と、良き農夫を要します天の雨露を要します、全國百萬の我國の處女!農村に在る純潔なる處女!私共はこの人々を思ふて此の人々と共に働き度いと思ひます。

今一つの試みは、本部基本金募集後援會に依つて催さるゝ十二月廿八、九、卅日に渡る歌劇の上演です。今此處に委しく記す時を持ちませぬ、然し凡べてが天の聲をきゝ導かるしまゝに、信の冒險を敢てして居ります、全國同志の姉妹の祈りを願ふて擱筆します。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

慈愛館と日本救濟團

守屋　東

慈愛館は婦人矯風會の一事業である、然し財團法人として別個の會計によつて維持され、十四名の理事によつて經營されて居る、其目的は申すまでもなく淪落せる婦人或は淪落せんとせる婦人を救濟して收容し、適宜の職業を與へ、宗敎的敎育によつて指導し其心身を安全に保護する處である。

此事業の起原は婦人矯風會が會の目標として男女の貞操問題を主張し、從つて男女の貞操を全うする爲に障害となるべき社會の制度は廢止さるゝやうにしなければならないといふ立場から公娼制度の廢止運動を起し、また海外に渡航して醜業を營み國恥を世界に擴大する如き點に對して防止の方法を講ずる爲に運動を起したとき、其等の婦人が來つて救を求め、また見出して救はなければならぬ場合に何處に收容するかと言ふ事に對して、慈愛館といふものを作つたのであつた、然し其當時未だ我國民は慈愛館事業の如き社會運動に對しては男女ともに經驗なく、智識がなかつたので、英米の宣敎師婦人等の指導と補助とを受けて組織した、且興味なき問題に對しては金錢の支出も少なく其費用の大部分は外國の同情者及理解ある人々の寄附によつて經營して來た、理事十四名は內外人七名づゝの割合であつた、理事長として矢島楫子先生、會計として島田信子、小崎千代子、本多てい子、渡瀨かめ子、大關ちか子、根本とく子姉等は明治二十六年時代からの理事であつた、矢島先生は凡ての惡罵と誹謗とに堪へて大久保百人町の現在の慈愛館敷地を今日の如く保護しまた苦戰して持ちつゞけられた。

館長として外人起つ

初代に於ては木下尚江氏が毎日新聞の記者であつた頃自由廢業せる一少女を送つて來られたのを慈愛館に收容し、優秀な少女として敎育した事などもあつた、從つて日本人に近く此慈愛館は經營されて居つた、また一度淪落した婦人ながら保護され指導されて立派な婦人になり、人の妻となつたものも決して少なくなかつた、幾分形式が整ふやうになつてから舘長は外人の手に委かせた、外國に對する報告の都合上、また、會計の實質が外人の手から多く出て居るといふ上から、自然外人中心といふ形になつてしまつた、また日本人の内に特別な興味と同情とを持つて此事業に從事しやうといふ人をも見出し得なかつた、困難な間にあつてヤコーレー夫人は舘長として熱心に働かれた、其當時は常に十數名の婦人を收容して居つた、特に收容者を多くする爲に積極的に働く事もなかつた、丁度七年前、マコーレー夫人の辭任についてペンロット女夫は內外人理事の推薦によつて舘長に就任された。

費用の大部分は外人負擔す

ペンロット女夫は、慈愛舘の一切の費用は信仰ある人の捧げものでなければ受けない事、特別な音樂會や其他の興行によつて得た金は決して使用しないといふ條件で就任された、女史は奮進實行の人であつた、困難な此事業をよく處理して行かれた、外人會計主任のスペンサー女夫は熱心に募金された、夏季輕井澤に於て常に千數百圓餘金を外人の間に集められた、日本人側は如何といふに、只一つの途であつた音樂會や其他の會を開いて利益を得舘の費用にして來つた其途を先絕たれたので全く苦戰した、然し、日本人は既に年月を經て是等の社會事業に對して理解を持つて來て居る、同時に其經營の方法についても批判を下すやうになつて來て居る、從つて、出支する金額も多くなると同時に、要求も出て來るやうになつた。此の間にあつてペンロット女史は專任働かれた、收容者の數も百に近くなつた場合もあつた、費用は莫大なものになつた、家は狹くなつて來た、女史は海外の同情者の祈の金を度々取りついで慈愛舘會計に寄附された、六千圓

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

三千圓といふ多額の一時寄附さへあつた、理事會は感謝してそれ等の金を受入た、新らしい事務所、必要な病室、またパン燒場など増築された、內務省、東京府等から數度に下附金を受けた、またライオン齒みがき東郷ハガネ、其他團體或は個人より百、二百と多額の寄附も受けるやうになつた、然し會計の全般から言ふときには日本人の負擔額は外人のものに比して六分ノ一或は最もよき時で四分ノ一位であつた。

憲法の改正を申出でらる

婦人矯風會が大正四年に公娼全廢の決議をなし、其爲に特に久布白幹事を迎へ此運動の大本を定めて國民に對し、公娼廢止の教育運動を起すやうになつて以來吉原遊廓全燒當時誕生した廓淸會と呼應して全國を公娼廢止の目標により教育した事は實に大なるものであつた、其結果は慈愛館問題に關しても非常な進歩と智識と此事業の必要とを矯風會の會員は確知して來た、年々開かれる四月の大會席上には此問題が興味あるものとなつて來た、全國の會員が一日慈愛館デーを實行して集め得た金は一千圓を超えた、斯くして慈愛館問題は各自の心に祈となり、また明かな智識と進歩した科學的立場に起つて此社會事業を經營しなければならぬといふ處まで來つた、一方海外醜業婦防止運動の方は、特に調査委員會を設けて、單なる慈善救濟といふ立場でなく組織だつた社會運動として此問題を解決する必要を認め其歩を進めて來た、此時であつた、丁度時は大正八年の十月、ペンロツト女史は慈愛館の經營上信仰の相異を日本の婦人矯風會に認むる事を述べられた、慈愛館は日本の婦人矯風會の附屬事業である、其會頭が同じく慈愛館の理事長である、故に慈愛館の憲法は矯風會の憲法に從つて出來て居るのである、其信仰も矯風會の信仰と一致して居る、即ち信仰個條によつて結ばれたのでなく天父を信じキリストの教に從つて此世を神のホームとなすといふ一點に於て一致したキリスト教信徒の團體である、從つて聖公會もあれば組合もある、日基もあればメソヂストもある、バプテストもあれば友會もある。凡てキリスト教を信ずる者は何派何宗の差別を置かないのである、特にキリスト教信者でない人でも我等の主義を賛し實行する

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

人は準會員として入會を許してある、斯かる主張主義によつて廣く結ばれた會の附屬事業である慈愛館の憲法を館長の信仰の如く訂正する事を申出られた時、理事は非常に驚いたのであつた、勿論、館長として慈愛館を委任してある間は其館長の信仰に從つて經營されて行く事は適當の事であるが、慈愛館の憲法を其館長の信仰通りに改正するといふ事は出來ない事である、特に矯風會の如き廣き各派の集まつて組織された團體には出來ない事であると同時に若し訂正すれば矯風會の憲法に抵觸する事になるのである、此問題は信仰問題である爲に非常な感情的な問題であつて困難な問題であつた、何度となき理事會は開かれた、また矯風會の常置員會は開かれた、萬國本部の憲法について私共の理解のあやまりなきや否やをゴルトン女史に手紙を以て問ふて日本婦人矯風會の憲法は萬國本部のものと何等牴觸なき事をも確かめた、特別委員會は開かれた、時日は遂に本年六月二十日迄かゝつた。

一、矯風會はまた理事會は慈愛會の憲法を改正する必要はない、と決した。

一、ペンロット女史の辭任に四月の大會に受入られ、六月三十日を以て辭任と決した。

日本救濟團新設さる

ペンロット女史が辭任さるゝ前に發表された事があつた、即ち

此度新たらしく日本救濟團さいふものを組織した、此團體は慈愛館に多額の寄附をしたオーストリヤの新禱團の一部の人によつて組織されたもので、自分は其團の幹事になつた、此團に働くものは決して他の會或は團に關係を有つてはならない規則である、其故に自分は日本傳道隊（J、E、B）をも辭した。

理事會は永年働かれた女史が辭任さるゝ時に、女史が日本救濟團を組織されて直ちに其爲に働かるゝ事を知つたのであつた、またペンロット女史と共に今日迄慈愛館に働かれた職員もペンロット女史と皆行動を共にされた。

慈愛館に收容した娘等は永年ペンロット女史の感化を受けまた其指導を受けて居つたもの許りである、女史は慈愛館と同一なる救濟事業を開始された時此慈愛館に收容してあつた娘等全部を引きとつて世話する事を申出られた、理事會は此爲にまた再度の會合をした結果

一、永年ペンロット女史獨特の教養によつて收容されて居つた娘等はペンロット女史に從つて此後も教育される事が最善の道であ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

ろから女史の救濟團體に全部委托する事、

日本救濟團は組織された丈で家はなかつた、指導者はある、今茲に述べた如く收容者も出來た、慈愛館理事會は、ペンロット女史の今日迄の勞に報ゆる爲、また理事長矢島先生渡英中不在なる故を以て十月三十日迄(四ヶ月)間慈愛館の建物の使用を許した、慈愛館の建物を借用して日本救濟團は活動を初められた。

慈愛館の敷地は賣らぬ事

慈愛館の事業は一時是れによつて中止された形である、只事務會は度々開かれて其善後策について研究に研究をして居るのである、收容すべき必要の婦人は一時婦人ホーム或は日本救濟團に依賴する事にして時は進んで來た、矢島理事渡瀬理事の兩姉は英國から歸朝された、日本救濟團から新たな申込があつた、

一、慈愛館の敷地及建物を日本救濟團に賣却してもらふ事は出來ないか。

此申込に對しては實に理事會のみならず、常置員會は涙を以て相談をすゝめ、又信ずる處を述べ、考ふる處を語り、祈つて遂に決したのである。

一、慈愛館の敷地及建物は賣却せぬ事。

明治廿二年に初めて大久保に千餘坪の地域を求め、矯風會の財產とし未だ開けざる郡部に、此長方形の形惡き此土地を有する爲に如何許りの苦心と美談とがあつたかしれないのである、今は電車開通し、亦周圍に立派な住宅が連なつて町となつた、其爲に又如何許りの苦心を收容者の爲に經驗するやうになつたかしれない處である、それにもまして、全國の會員を初め凡ての人々が大久保の慈愛館といふ事を漸く記へ親しみを有つやうになつて來た時である、此場處を今矯風會が賣る事はすべき事でないと說く者、賣つて他によき場處を求むる事を主張する人、遂に上述の如く賣らぬと決定するまでの理事の苦心は容易ではなかつた。

兎に角賣らぬと決した以上は日本救濟團に其趣を答へると同時に、多數の收容者を有する團の前後にも同情して幾分の便宜を謀つてあげる事が至當であるから理事會は左の通りに決めた。

一、賣る事は出來ぬ他に移つて頂かなければならない、然し今すぐさいふ事は出來ない事であろから來年三月まで餘豫をおき無賃でお借しませう、若しそれより前にどうしても移つて頂かなければならぬやうな事になつてもお差し支のないやうに早速他に場處を見付けて頂きたい。

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

慈愛館と救濟團の理事會見

大正九年の十一月廿二日、本部會館で慈愛館の理事中から選まれた委員五名(久布白落實(本多理事代理)、渡瀨かめ子、守屋東(島田理事代理)、ミス・ルエス、ミス・クローソン)と日本救濟團の理事(理事長中田重治夫人あやめ子、理事今井姉、潮時姉、ミス・ホハイトマン、ミス・ペンロット)と會見した、そして前述の通りを發表した、(傍聴者數名)中田あやめ夫人は理事長として承知の趣きを答へられた、猶三月迄の猶豫をつけて建物の貸借期限を定めた事については一度引きとつて相談の結果、返事をするといふ事で別れを告げた。

ペンロット女史及今井たみ姉は十一月廿六日の船で米國に出發された、日本救濟團は中田あやめ夫人の指導の下に矯風會の慈愛館の建物を借りて經營されて居るのである。

これが慈愛館の現狀をそのまゝ、最も簡單に述べた處です、これまでの間に種々經來つた事件については來るべき大正十一年の四月の大會の時代員諸姉に明細に報告しやう思つて居ます。

慈愛館事業は、矯風會が運動する限り必要な社會事業です、收容するものは皆倫落せる或は倫落せんとせる、日本人です、同情深い外人の手に今迄は指導されて來たものです、然しもう我々がしなければなりません、遲い位です、經營に要する費用は慈愛館の內容が明かになれば自然に出て來ます、其內容は何ですか、實に恥ずべき行爲について語らなければならないのです、制度の惡い爲に起つて來る犧牲者の淚に濡れなければ理解されぬ問題です、富の懸隔から起る貧しいもの丶只一つの取る道です、婦人が起つて此爲に戰はなければ遂に勝つ見込のない戰です、婦人の權利が全うされる爲に其子女が正しく保護されるために婦人は此事業に對して一指を染なければならない問題です。

是等の問題は世界的のもので性に關する諸種の罪惡は決して我國の特產ではありません、然し我國のものだけは我國で解決してゆくべきはずです、恥を語つて金を得たくはありません、むしろ寒くても一衣をぬぎすて丶其爲に捧げたいと思ます、諸姉充分考へて下さいませ。

慈愛館と日本救濟團との區別はお解り下さつたと思ます。私は斷つてこれを認めました。

殿で只今歸りました

ガントレツト恒子

しばらく

皆様の御後援とお祈りとのあつたおかげで、身にあまる大任をはたしたとはいへないまでも、ともかくもあはたゞしい九ヶ月の旅を終へて無事歸朝する事の出來たのを心から欣んで居ります。歸朝の途次、矢島先生が御過勞の爲御健康をそこなはれたといふ風說を耳にして大變心配して居りましたところが、以前にもまして御丈夫さうな若々しい笑顏を以て迎へられ、益々盛んに活動して居られるのを知つた時には、ほんたうに涙のこぼれるほど嬉しうございました。それから、案じて居りました家の子供達が皆丈夫で、見違へるほど大きくなつてゐたのも嬉しい事の一つでございます。

大會の詳細な報告は報告書の來着を待つて次號から連載する事に致しまして、只今は歸朝の御挨拶に合せて、旅行中に感じました事の二三を申し上げておき度いと存じます。

六月の六日からスウヰツルのジエネバで開かれました婦人參政權大會に於きましては、極東の日本からの唯一の代表者として、意外な歡迎と身にあまる光榮を受け、特別に貴重な時間を私の爲に與へて下すつたばかりでなく、一夜は一萬餘の聽衆を前に公開講演をさせられたやうな事もございましたが、出席中獨墺の代員婦人等からベルリン、ドレスデン、ズーリツヒ、ブタペスト、ウヰエナ等への懇切な招待を受けました事は私の意外に感じ、又深く考へさせられた事でございます。時日や費用の問題の爲中歐の二國に足を踏み入れる事の出來なかつたのは、今だに殘念でなりませんが、上記婦人等の話しによつても、砲火の洗禮を受けた獨、墺の婦人等が如何に平和を熱望してゐるか又極東の一婦人がかつては敵であつて獨墺の婦人等と相提携して世界の平和を確立しようと叫ぶ一言が如何に彼等を勵まし喜ばすかといふ事を知つて、今更のやうに私共の

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

使命と責任とを痛感した次第でございます。

六月下旬に歸英、七、八二ケ月の間は、何れの宗派を選まず、私を容れてくれる凡ての團體の招きに應じて、直接傳道に、禁酒運動に、心身の精力のつゞく限り活動いたしました。八月下旬から九月中旬にかけてオクスフォートに開かれた婦人問題講習會には、特別なお客様として招待せられて、出席中日本の婦人に關して四十分間程の講演をするの光榮を得ました。

九月下旬ニユーヨークに渡り、山口氏大堀氏それから會友小橋三四子女史等のお世話になつて一週間程滯在致しましたが、病氣の爲僅か一回の講演をやうやうなし得たにすぎませんでした。シカゴでは青年會の島津氏のお世話になつて居りましたが、ミス、ゴルドンといろいろの打合せをする爲エヴアンストンに行つたりしましたので、活動する暇もありませんでした。

大陸を横斷してサンフランシスコに着いたのが十一月廿一日の午後五時、途中オークランドで汽車を乘りすてゝサンフランシスコに着くまでの渡し船の中でふと見覺えのある日本人の御夫妻をお見かけしたと思つたら、それは丁度私を迎へに來て下すつた佐野氏と夫人とでした。渡しがサンフランシスコに着くとすぐその足でリツチモンドに引き返して、お二人の御案内の下に私は丁度その日で終るカリフオニア州の矯風會大會に出席致しましたが、最後の日の事とて皆さんお疲れの御樣子でしたから、長舌を振ふのもどうかと思つて、只日本の婦人矯風會からの簡單な御挨拶を述べておきました。サンフランシスコでは四日間に晝夜六回の講演を致しましたが、廿五日の月曜の晩は National League of Women's Service といふ同地の一種の婦人倶樂部の講演日に當つて居りましたもので、私は招かれて日本の社會救濟事業の事など話しました。此の團體では私共の婦人ホームにあたる事業も致して居ります丁度十一月二日の選擧の前でしたので、排日問題の實況も見てまゐりました。排日運動の激しいのは事實であるとしても、それは日本で騷ぐ程恐ろしいものでも勢力のあるものでもなく、排日派に對抗して親日派と名のる黨派さへ出來て居るのでございますから、今後の運動方法如何に依つては、案外圓滿な解決を得られやうかとも思はれます。終りにサンフランシスコ滯在中一方ならぬお世話になつた佐野氏藤ケ崎氏我孫子氏に心から感謝いたします。

小さき兵士

二階堂みよ子

年の始めも暮もないこの運動にも世間並に年暮は參りました靜に半ケ年の過去を顧みて實戰の狀況を御知らせしたいと思ひます。約二萬の名譽の賜を擔ふて凱旋した小さき兵士が本部の机の上に堆く積まれました全國の支部は申すに及ばず青年部學校教會個人有志家と東から西から集つて參りました積みあげられたこの袋を見ますと私は一種云樣のない淚が湧いて參ります一滴の雨だれの樣なこの運動が大河をなすまでにはどれだけの姉妹方の御心からの御祈りと努力が加へられた事かと思ひます古くなつて手擦れのした袋を見ますとこの袋にこそ實戰の狀況や感想が問ひたくなりますます大きい期待を以て送り出されたこの兵士が姉妹方の美しい奉仕の手を通して工場に入り教會に入り學校に入り人々の家庭に入りてどんな使命を果して參りませうかみのらせ給ふものは人の力でない事を信じて小さいながらもこの運動の尊さを思はずには居られませぬ五錢袋運動は誰にでも出來るものであります決してむづかしい事ではありませぬけれども一度姉妹方の熱誠が加へられてこの小さき兵士が動かされる時には五萬となり十萬となりしてさしものむづかしい事が完成される時が參りませう先私共の手で出來る事から始めねばなりませぬ其所にこの運動の尊さがあるのではないかと思ひます。

大會後から今までに六萬の兵士が送られました。七十の支部十五の青年部八つの學校五〇の個人有志家九月に入つてから東京府下の教會百十餘ケ處へ配られました殊に喜ばしい事は新しく設けられました有力な支部高知、四日市、明石など一百二百と出された事で御座います明石支部などはもはや實戰を經て歸つて參りました東京支部の赤坂支部へは五百の兵士が送られましたのに支部長山東先生の御熱心な御働きで六百とな

つて歸つて來ました隱れたる御骨折りを感謝せずには居られませぬ其他熊本支部では松本百合子姉の美しい御働きは二回三回と凱旋させては追加を申越されました岡山支部、大牟田、若松、大阪などは二回御送金がありまた袋を御送りした處でございます今治支部は昨年は御運動がなかつた樣でしたが本年は二百餘りの袋が充されました。

學校や青年部も皆昨年の倍額近くになりました昨年御運動のなかつた北陸女學校から百名以上の凱旋兵があり立敎高等女學校や神戸女學院からは何れも八百から九百の精兵が集められて來ました女子學院、東洋英和女學校も中々御熱心に御力添へ下さいました東洋英和女學校は夏の御暑い時にも夏休みを利用し其他種々の機會に御運動下さつた樣でございます。集められました袋の中には牛乳搾取業者があり洋服業がありあらゆる階級の方々を網羅して居りました今更小さき兵士の上に飛び下に走つて思ふ存分働いてくれる事を思ひました。

敎會は年々應ぜらるゝ處增加して來ました特に感謝すべきは大連の日本基督敎會から山中さわ子姉の樣な特志家を見出した事であります始めこの敎會へは外の敎會の樣に二十五袋送りました處五圓三圓とぽつぽつ入つて來て昨年は十九圓に上りました金錢の多少を思ふのではありませんけれども必らず隱れた御志の密める事を思ふて、婦人新報を送り廓清を御送りして敎育運動の眞意の了解せられん事を祈りました本年は思切つて何の御便りもないのに三百送りました處七月頃三拾圓餘り供へられて猶思がけぬ御熱誠な同志の友を與へられました。

次に本年に入つて新しく企てられましたのは全國の基督敎青年會へ手を着けた事で御座います支部と學生青年會と合せて八十餘ヶ所へ送りました男子の方に御協力を仰いだのはこれが始めてゞあります尤も福岡大學の基督敎青年會の如き昨年から御後援下さいました樣な例外もありますけれども將來の日本を雙肩に擔ふて立たれる學生青年の方の御參加はどんなに力強いか知れませぬ基督敎學生青年の方々が眞にこの運動の心を

御了解下さつて御協力下さいましたらと思つて着手致しました處振替は各地から尊い精兵の御努力を齎せました。

今一つ特に祈つて頂きたい事は處女會への運動が開始された事でございます百萬以上の會員を擁して殆ど全國農村の純潔な處女を網羅して居ります同會にこの雨だれが浸潤いたしましたならば法律の力を借りなくともこの制度は自然なくなる事でありませうまたこの制度撤廢が長引きましても實際に於て我國處女の大半を占めてゐますこの會の會員に美しい純潔さが漲つてほんとうにこの汚らはしい職業の恥を知り一人もこの中からは斯樣な職の婦人が出ませんでしたならば實際に於ての成功と申されませう。

終りに申上げたい事は日本から萬國基督教婦人矯風會大會に御參列になりました代員中の御一人ガントレット夫人が十一月二十二日に無事御歸朝になりまして種々彼地の御樣子を承りました中に歐洲といはず米國其他何れの國でも只今婦人達の運動の集中されてをりますのは禁酒と廢娼でありますどこを旅行しても尋ねられるのは日本に公娼があるかどうかといふ事でありますこの時程恥しいつらい事はなかつたと申されますが事實を僞つて御答へする事は出來ませぬ一等國で日本程公娼が花々しく表示してる國は外にありませんでせう。何處へ行つても耳にするのはゲーシャガールといふ言葉だつた相です藝者が日本の代表的婦人と思つてをらるゝ連中が少くない事を發見されました。

思ひ來りますと益々我會多事の感が致します二萬や三萬の兵士ではどうする事も出來ませんけれどもどんな大事業も難事業も一歩づゝ進ねばなりませぬ小さい兵士の募集は私共の手に出來る天より供へられた特權で御座います倦まず撓まず勇氣を以てもつともつと御力を御注ぎ下さいませ、まだ來年の大會までにはあと半ケ年足らずございます喜びの音づれを齎せる事の出來る樣共に共に努力いたしませう。

＊＊　＊＊　＊＊

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

上州部會に出席して

高崎に開かれし

宮川静枝

たそがるゝ秋の日の歩みは心惜いまでに遽しかつた。美しい空の色を紺青の深きにとゞめて金星は殊に大きく輝いてゐた。五時卅九分高崎驛に著くと部會開催について種々御奔走下さつた片桐牧師、田中、森島、熊井、星野、野中、藤巻の諸兄姉を始め十數名の方々の御出迎を受け、直に驛前の高崎舘に導かれました。舘主田中氏の廣い應接間を室に定められ、叮重な御配慮によりその夜は矢島先生も快く安眠されました。

□上州部會の午前

十一月廿三日午前十時半より高崎教會にて部會開會小泉たね子姉司會のもとに讃美聖書朗讀の後原市の半田老夫人の熱心なる祈が捧げられ、讃美の後各支部の報告に移りました。高崎は固り前橋の松宮夫人、安中の湯淺夫人、原市の半田夫人、藤岡の大戸夫人、伊勢崎の近澤夫人、富岡の小泉姉等いつも手紙の上ばかりで存じ上げてゐた方々を始め數人宛出席されてゐましたが、御報告はいづれも御謙遜でした。けれ共その謙遜の裡に秘められてゐる根強い信仰の働と、社會奉仕のための美しい犠牲と愛心とを認めないではゐられませんでした。

吾國の部會の中最も古い歴史と意味深い背景とを持つてゐる上州部會の各支部は五銭袋の運動に、毎年の二大請願に力を入れられ又花の課の働きは美しい同情の心を持つて續けられてゐます。蠶業の盛んな上州各地のきび〳〵した會員諸姉が益々その力を揮つて矯風會の主義を廣く宣傳し目的を達するために愈々努力して下さるとの意氣を見て實に感謝に堪へませんでした。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

報告に次で矢島會頭の懇なる奬勵があり、數名の感話所禱があつて十二時半閉會、約九十名出席。

□樂しき午餐

高崎舘の大廣間を二つ打ち通して七十人ばかりの同じ心の友が食事を共にしたのです。此度の部會開催について熱心に姉妹方を扶けて御盡力下さつた男子の方々六七人の外は凡て同じ心の姉妹方、お子さんやお孫さんをおつれになつてゐる方々もあり、いづれも、八十八の高齡にて大なる使命を果し無事萬里の旅から歸られた矢島會頭を見て心の底から喜び感謝されました。やがて自己紹介が始ると矢島先生から次々に廻りお名ばかりを知つてゐた方々のお顏を見てほんたうに嬉しく思ひました。わざ〳〵出席されてゐた安中教會の柏木牧師の温顏に接することも出來ました。私が六つの時に別れた亡父と同志社時代に同級でゐらしつたと承つて誠に感慨深く思ひました。

食事中は高崎支部の姉妹方が種々と御世話に忙しさうでした。食後は記念撮影。

□午後の講演會

午後二時からの講演會には女學校の方々が卅人計り見受けられました。男女合せて百卅人計りだつたでせう。前橋支部の松宮姉司會のもとに禮拜が濟むと、片桐牧師の御紹介があつて、不肖なる私は「社會と婦人」といふ題で所信を述べ、次に矢島會頭は實に壯んな聲と態度を以て「矯風會に就て」といふ題で懇ろなる演說をされました。

此日は生憎の雨で寒さも取り分け身に泌みましたが各地からわざ〳〵出席された方々の實に多數であつたことを心より感謝しました。さうして閉會後私の手には請願書や五錢袋が次から〳〵に渡され、本部への何よりのおみやげとなりました。

□地の鹽となり光となれる大家族

廿三日夜は高崎第一の噂ある吳服太物商熊井氏方にぜひにとの御厚意によつて迎へられました、御主人常三郎氏夫妻は此度矢島先生の御いでを機會に禁酒禁煙をさるゝことになりました。おめでたいことです。可愛

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

い嬢ちゃんのある長子御夫婦は救世軍の熱心な信者、二男の董直氏は高崎教會の青年會幹事として眞面目に盡さる丶人、お店には卅人程の人があつて、而も支配人はクリスチャンで店員はいづれも禁酒禁煙をされてゐるとのことでした。私は此家族の方々と語り交つてゐる間にその家庭に漲つてゐる勤勉と謙讓と愛心との温い混合を快く感じました。

翌廿四日午前は矢島先生は凡そ十八枚の揮毫をされ少し離れた處にある熊井家のお店を拜見に行きました。徒らに新しきを追はず紺の暖簾をかけめぐらしたお店には午近い頃なのに十四五人のお客樣で中々の忙しさ。「はい、これでまだ閑な方でございまして」といふ御主人の言葉を聞いて「なるほどこれだけ繁昌すれば商賣も面白いだらう」など丶私のやうな者でも興味深く思つたほどでした。郊外にある工場で錦紗縮緬の製造から染上げ迄して各地に賣出されるとのこと。私共は二時八分の汽車に間に合ふために自働車で送られました。

□再び東京へ

ステイシヨンには先日來ずつと御奔走下さつた男子の方々數人と野中姉藤巻姉其他の姉妹方數名がお待ち受け下さいました。さうして皆さんの心からの感謝と微笑に送られて其日の夕暮二人は無事赤坂の本部に歸着。

矢島先生はお話の中に「日本中で上州の婦人は一番偉いのです」と言はれましたが、實際上州の方々は元氣で意氣が盛んだと思はれました。此度の集會が實現する迄には片桐牧師を始め、教會の老若男女の方々が心を一つにして御盡力下さつたといふことを度々承つて私はどんなにうれしく思つたことでせう。此度高崎支部が生命を盛りかへして復興する事を期して感謝に堪へないのです。さうしてそのために高崎の諸兄姉は申す迄もなく會員の凡ての祈りがそのために捧げられるやうにお願ひいたします。高崎支部に於て部會が開かれたことは實に有意義であります。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

炭谷小梅姉の永眠をおしみて

舊友炭谷小梅姉は○○○岡山市に生れ、明治十一年頃未だ岡山教會の存立せざる時代に於て教を聞き、幾多の困難なる四圍の逆境と戰ひ、神戸英和女學校に入り校長ミスタルカットの指導の許に聖書を研究し、後同先生を伴ひて郷里に歸り、先生と共に「ミッション」傳道の爲めに努力し岡山孤兒院岡山教會婦人會、日本婦人傳道會、又基督教矯風會等社會公共事業の爲め盡くされしこと實に多大でありました。

私は明治十二年春神戸英和女學校神戸女學院に於て初めて同姉を識り、故金森小壽姉故三村秀野姉其他一二名の縣人と故郷岡山市の傳道の爲めに其成功を祈り、以來親交をいたして參りました、明治卅九年日本婦人傳道會を設立し、朝鮮傳道を開始いたしました際同姉は副會長となり、以來滿十有四年間會の爲め又尠なからぬ貢献をせられました。平素强健ならざる方でありましたが、本年春日向に於て大患に罹られ、一時重體なりしことありしと、其後恢復せられ、夏以來上京その最愛の一人娘子青木夫人豊子姉の居宅に休養あり、去十月の世界日曜學校大會には殆んど毎日出席して熱心に講演を聞きその盛會を目撃して喜んで居られました、其閉會の日即ち十月十四日、私は同姉及愛孫なる豊子姉の案内にて千葉の青木氏邸を訪づれ久振で親しく昔話など互にいたし、翌朝は幾千坪と云ふ廣き内庭園を散歩して美くしき花を視、その食卓に上る菜園を視、又お孫さん等の成育に關する御話且は傳道談などを伺ひ、一日教會の生活を全く忘れていとくつろぎ快談いたしました。次いで十九日(火)靈南坂教會に於て婦人傳道會役員會の開かれし時神國建設の爲め各自益々奮勵を約束いたしましたが　炭谷姉も亦出席あり明春日向に赴かるゝとの事で宮崎縣下巡回傳道應援の事を依托しました。然るに突然此永眠の事あり實に夢の如き心地いたし、哀悼の情禁ずるを得ません。享年七十一才資性意志の人にして同情に富み勤儉力行の人でありました。傳道者曰く凡べての事凡べての行爲には時ありと。實に炭谷姉は馳るべき道程を盡くし了へて永への休息に入られたのであります。慈愛に富める母君、叔母君、又姉君と仰ぎしものに取りて再び同姉を見る能はざるは實に淋しき感を催します。然し靈に於て同姉の生きて居らるゝ事を確信して感謝に堪へません

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

私共は此際同姉の志望を繼承して益々社會奉仕の爲め盡くし度いものであります。冀はくば遺族の上に又同姉の遺されし事業の上に神の豊かなる御祝福あらんことを祈ります。

大正九年十一月廿六日
東京矯風會本部事務所に於て
邊渡　常

私の村にも矯風會を（寄稿）

竹内愛泉生

私は信州の片田舍に住む若者です、私は今完全なる基督者たるべく勵精刻苦の最中です、そして又神の國が地上に實現されん事を切に祈り切に努めてゐるものです。乍併私の罪の根は仲々斷ち盡し難く、今の世の闇は容易に取り去ることができません。

私は自分の行末、世の前途についてうたゝ嘆息しないわけにはなりませんが、ついに必ず來る凱歌の日を信じて勇み進むことができます。

私は今、兄弟と共に救はれ相愛し互に勞苦して、親の家を大成し、模範の家庭を成就すべく兄弟奉仕團と云ふ組合的家庭を創めてゐます、又それと同時に農村社會問題を解決せんための學村自作農期成會と組合製糸と、一人一戸だに餘さぬ禁酒村實現の目標でKM—北御牧と云ふ村名から—禁酒同盟會と同志青年の團體たるKM青年文化同盟と、自治自動自由主義の夜學會とを目論見既に又は漸次に實行に移さんとしてゐます、それから、こゝにも一つの計畫があるのです。

それは偉大にして微妙なる婦人の力を痛感し婦人の力を賴つて人の罪と世の闇とを除去したい、これも止み難い衷心の念願から僭越のそしりに顧慮するなく、敢へて異性の世界に手を擴げ、その覺醒と團結とに助勢したいのです。

この故に私はまづ私の村にも矯風會支部を起したい。片田舍のことゝてまだ基督教の何であるかを解してくれる人殊に婦人は至つて少數ですから、それに先立つて、まづ傳道が必要ですが、この場合私は傳道と團結とを同時にすることの有効さを信じます。

勿論始めから矯風會の規定に準據してやるわけにはゆかぬかも知れませんけれど。

とにかく私は自分の村の姉妹方に

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

基督教の信仰をおすゝめし、ぜひ矯風會を起したい、そのためには、集りの準備や、會の組成、講師の招聘など能ふ限りの盡力を致しませう。

私はこゝに貴重なる本誌を通じて村の姉妹方にはかるのです、私の村にこの計畫が實現され、若し又この記事によつてまだ支部の設けられない地方の姉妹方にも續々實現の機運を開くことができましたならばと思ひこの私が、ゞ、ましい拙稿を寄せた次第です。

私は今非常に緊張してゐます。貧乏百姓の私には時間の上にも財力の上にも殆んど餘裕がないのですがこれからのやうな所謂農閑期の零砕時間と安息日とを活用し着手の個所を低きに求めた、如上の諸事業を屹度大成したいものです、私の舞臺はたつた、生家と居村とにすぎませんが私の魂は萬人と共に救はれん願ひに燃えて居ます、神様は必ずや私達に必要な御力を與へ給ふでありませう。

（信陽、佐久、御牧ヶ原　兄弟奉仕園ニテ）

巡回講演　播州、甲州、名古屋

渡邊常

九月十二日（日）女子家庭塾の藤井榮子姉を伴ひ午前八時神戸出立播州別府に肥料製造に於て全國に其名高き多木氏宅を訪問致しました、當日は「八朔」の休日にて多木氏及村の助役の御方、種々斡旋の勞をお取りくだされ、午後三時より村の大公堂にて演說會があり、「米國に於ける廢酒運動」につきて語り、正義人道を愛する日本國民も亦深く此問題を研究して之れが實現に努むべきことを話しました、來會者約二百名、多木有機子姉及同姉經營の幼稚園敎師渡邊道代姉は其際神戸支部會員に御加入あり實に嬉しうございました。

十月廿日（水）世界日曜學校大會に出席後久振に甲州訪問を思立ち午前八時五十分飯田町發午後二時過勝沼驛に着、「葡萄産地」小尾氏出迎へくれられ葡萄園を見物す、旣に過半は

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

切斷されていましたが、その無數の房が熟して紫色に垂るゝ全園の樣實に美、我は眞の葡萄の樹汝等はその枝なり云々の句の意味を更らに新たに教へられました、私は先年山梨英和女學校在勤中數回傳道に參つた事がありました、目下小尾氏熱心に教會の爲め盡くされてゐる當夜同會の任に當られ雨天にも係らず多數の兄姉來會之も亦熱心に聞かれました、他日此地にも婦人矯風會の生れ出づる事を祈ります、翌廿一日も引續き雨天なりし故隣村なる等々力村金丸きみ子姉の厚遇によりて姉妹を訪づれ廿二日朝日下部驛一里半餘の處にいで甲府山梨英和學校に投じました。十月廿二日より廿五日迄同校に宿泊當校は明治三十年より同卅八年迄滿八ヶ年間日夜親しく在學の姉妹と教場に於て猶又傳道及矯風事業に於て共に樂しく務めて居た關係上恰も久々振で吾家に歸りし心地致しました、校長ミス、ロバルトン、舍監神子田姉、給仕石川と申す人等は舊知の方々故、皆よくきたとて喜んで迎えてくださいました、翌廿三日(土)朝病床にある一姉妹を訪づれカトメル女塾同窓會の席上に於てお話を致しました。話中あなた方は富士の高山を毎日視ていらつしやる方々であるが高き「キリスト」を知りて家庭及社會の幸福增進の爲め努めてもらい度い、それこそ廢酒もしなくてならない事など語りました處がミス、ツウイデー何か感ぜられしと見え、直に馳せて甲府教會小野牧師宅を訪ひ日曜日の夜矯風演說會を開く運びをつけてくださいました。其翌廿四日午後七時半より甲府教會堂に於て話致しました、二百有餘の兄姉來會、米國廢酒の理由及び吾が國民廢酒の要件を宣傳致したのです。此市には禁酒會も既に設立しある故皆さん今後一層盡くすべきを約されたので深く感謝致しました、それに舊會堂は改築され一大會堂となれる樣を見て只管感謝に堪へませんでした。

此日午後四時より山梨英和女學校に於て又集會催され寄宿生徒の爲めに話致しました出席者約六十名廿五日(月)尙數日後には同窓會も開く事故それ迄ゐては如何と頻りに申されしも先約の都合あり惜しき別れを告

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

げ午前八時甲府出立甲州、信州、木曾山中の美景を賞しつゝ、同夜七時半名古屋服部氏宅に投じました、此地又明治廿八年より三十年迄淸流女學校に勤務中のホームたりし場所其昔に比し四通五達の電車を視て市發展を喜び廿六日(火)午後名古屋組合敎會の婦人會に臨みました、廿有餘名出席廿七日(水)朝禮拜の席上金城女學校の生徒に向ひ"Seek the Best"彼のDr. Brown日曜學校の「モト」と稱へられている最上の物を求むべしと云ふ語より話致しました、全生徒約三百名なりとの事、市川校長、ミス、カトランド嬢は一昨年ニューヨルク聖書學校にて初めて相識りました其他の敎師一致團結、校舎の增築せられ益々隆盛なるを視て實に市の光なりと感じた次第です。然るに此處に多年淸流の愛すべき名を以て市の敎育事業に盡せし、主義ある女學校の其姿を失せしことは僅か二三年とは云へ關係せしものに取りては其死を悼まざるを得ませんでした、同日午後數名の姉妹の宅を訪づれ同夜十時半夜行列車に乘じ翌廿八日(木)午前七時神戸の宅に歸りました。今回は帝都に於ける世界的の大集會に臨み、次いで甲州名古屋等の婦人會、女學校又家庭の集會に於て諸兄姉と親しく語る事のできたのは實に〱嬉しうございました、到る處主にある熱心なる幾多の兄弟姉妹協力を以て神國の事業の爲め共に御盡しくださいました事を深く御禮申上ます。

S、M、

皆さんお喜び下さい

今月位愉快な報告が次から〱に集つて來ますこと、どんなに忙しい思ひをしても樂しみです。九州部會があり上州部會があり、會頭の歡迎會が京阪神を始め各地で催されました。大牟田と高知では最初の試みとして花の日を催して大成功をされ、大阪では年中行事の大バザーが開かれて大成功でした。其他報告欄にある通り實に小氣味よく皆樣が熱心に活動されました。

尚又皆樣に喜んで頂きたいことは、更に二つの支部が組織されたことであります。

一、笠岡支部(備中)は十一月八日發會式を擧げて十七名の會員を以て組織されました。支部長柚木柳子書記佐藤菊子內安つる子會計小野眞須子の諸姉が役員として盡力されることになりました。

一、尾道支部 まだ發會式は濟みませぬが、巳に十七名の會員を持ち、役員としては支部長柳田峯子、書記若井柳子、牧野節子、會計早川ちせ子の諸姉が擧げられました

右の二つの支部は此夏林、渡邊の兩姉が御巡廻下さつた結果として出來たものであります。

時來り同志の友は益々多く實に心強い氣が致します。いでさらば共に祈り協力し此世を人類の樂しきホームとするためにお互に力を盡しませう。

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

臺灣より歸りて

林　歌　子

十一月廿九日下關にて始む

鎌　倉　丸

思へば二十三日前、十一月六日午後、門司に於て開かれました、九州部會の婦人會の壇上にて、矢島會頭に手を握られて御別れ致し、船へ急げば、最後のランチの間に合ふて、鎌倉丸に乘込みました、漸く都合して、二等の室へ入られましたが、私の室は婦人客六人中の二人は製糖會社々員の妻、一人は長く臺灣にて、根據を造つて、故郷へ立かへりの婦人、一人は浪花節の座長、これから一月程、一行十人程引連れて、臺灣に興行せんとて、渡臺する人、一人は賣られて、今後幾年と年期を定めて行く藝妓でありました。海上平穩にて、大した荒れもなけれど、船に弱き婦人は、中々船室を出る力なし、其中の一番强かりしは、子持の夫人にて、私と共に毎回食堂に出でました、責任觀念程人を强めるものはありません、門司より基隆迄は七百五十哩、溢るゝ程の船客を乘せたる六千噸の鎌倉丸は、基隆港に横付け致しました。

新領土の光景

六千噸の船を横付け致しました、基隆港は、十三年前に、博愛社のために同情を訴へて來りし時とは、全然趣を異にして、立派になれる、臺灣の表玄關、出迎へられました丹下姉等と、臺北へ着致して、停車場を始め、宏壯なる建築物、道路はアスパルトを以て固め砥石の樣な大道路、齒付きの高下駄などはいては、滑る樣な氣持が致します。

本島人は、三百五十萬、内地人（日本内地の人）は、十五萬に足らぬと聞きますに中々多い樣に見えました臺灣と申せば、生蠻と直ぐに連想致しますが、十三萬程と申します、生蠻は、どこに居りますか、私の全島を巡りました處では、目に當りません、二三年前、支那の革命に促されて、臺灣も斷髮を實行致しまして、本島

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

人、內地人の別が分らぬ樣に、車夫などに向ひ時々內地語(日本語)を用ひて面喰ひました、內地人の車夫も、所によりて稀にはありますが、總じて、勞働者には本島人が適し、商賈も中々上手で大金持が中々あると申します。

本島人に、文學士が一人、醫科大學卒業生があり、辯護士があり、敎師あり、領臺後二十四五年、漸次同化に進みつゝ、今勉强中の子供が、生長の曉には、尙一層進步致すべく、幸に總督府の好意にて、丹下得喜子姉と二人に優待券を與へられて、全島を一巡致しました。

臺北支部

今年の三月に臺北にある、三敎會の姉妹方が、三十餘名、白きリボンの會員となられ、今年四月の橫濱に於ける大會に、出席されし丹下姉は、來會者に、多大の喜を與へ、十月には愈々夫々の責任者を推薦されて、自然に生れ出でたる、力强き、臺灣の首都に於ける、臺北支部は、森澤夫人を支部長に、金平夫人を書記に、福田、小谷兩夫人を會計に、推薦なして、牧師方と、相應じて準備を整へられ、九日夜、私の到着を待ちて、歡迎會を催され、十日には婦人會、廿二日には禁酒會と合同して、熱心なる赤十字病院の吉田禁酒會長の司會にて、ホテルに於て、大島博士と共に講師となつて、盛なる講演會を開きましたるは、臺北支部の發會式とも申すべく、役員を始め、吉田夫人、三井夫人等、これこそ初陣と、意氣込みて盡力せられ、何でも大阪支部に負けぬ樣に、盡力致します、本島人の間にもこれから段々と、活動を開始致しますとの意氣込には、淚の出る程嬉しく感じました、廿三日夜、苗圃といふ靜けき公園內にて、慰勞會を催され、大概は御夫婦連にて、會主側の御挨拶に、今回の働きに付きて、夫の內助の難有事を眞に感謝致しましたとは書記金平夫人の眞實を語られし一語にて、新領土にある婦人の意氣込、進步發展を物語ります。

新竹

臺北を晝頃に出立なして、二時間程にて新竹へ着致しました、塚酒家只御主婦に迎へられて客となり、夜は倶樂部に於て講演會、翌日は製糖

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

會社小畑氏方にて、有志の婦人達が來られて、婦人矯風會新竹支部は結ばれ、新竹支部の母としては、淸水すみ子夫人が當られ二十名程の會員が出來ましたといふ報知に接しました、新竹に雜貨店を營む、下村正治氏夫妻は、如何なる場合にも安息日を嚴守して、今日に至れるといふ篤信なるクリスチャンもありて、小さき禮拜堂は、小數の信者によりて保たる。

臺中

新竹を出立して、二三時間にて臺中へ着けば、澤山の方々に迎へられて、春田館に迎へられて、其夜は歡迎會を、日本基督教會に於て開催され、翌十四日は、臺中婦人會長加福夫人主となりて、若宮舍三氏等の御盡力にて、工學校に於て、一般聽衆のために、講演會は開催せられ、臺中に二泊致し、矯風會員の申込同主義の友、十名以上となられ、村松夫人が、何かと御世話をなし下され、梶原夫人に御願致さんと、相談致し、事務所を日本基督教會細川夫人方にと御願致し、天候美しき臺中の天地に別を告げ臺北より導き給ひし大橋牧師に別れ丹下姉と南進致しました

五間厝大日本製糖會社

途中まで迎へられし、荒砥牧師に導かれて、五間厝日本製糖會社へ向ひました、專務重役の鈴木重臣氏等、御迎へ被下、倶樂部に入れば、臺中の細川牧師も、居られて、食事中に、元と總督府の軍人にして、南洋に雄飛されて、漁業を以て、同胞の大發展を企圖なし給ふ、折田一二氏、來られて、圖らず、南洋の雄大なる御話を伺ひ、夜は倶樂部に於て、會社の人々三百人程に、講演をなし、夢は倶樂部に於て、目覺めて倶樂部の一室に於て、禮拜聖晩餐式は執行され、本島人の林氏といふ、會社勤務の醫師が、其夫人葵氏同娘と、小さい三歳位の子供を連れて、また國谷德太郎氏虎尾郡守も其夫人と共に來られ、式後に會社の小學校に行き、廣々としたる所に、縱橫正しき整然たる道路を步み、臺灣のみならず、殖民地に稀なる誰かの老母が、孫を脊負ふて社宅の戶外に立たれし、珍らしく、五百戶程の社宅は、一社會を造り、學校は百二三十人の生徒を入れてをります（以下次號）

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

各地通信

本部常置員

十一月十五日午後二時本部會館にて出席者矢島楫、小崎千代、ミスルエス、守屋東、皆川せき、田口たけ、千本木道、久布白落實、二階堂みよ、大塚八重、渡瀬うめ、宮川靜枝。小崎夫人の司會にて矢島會頭の祈あり。相談事項左の如し。

一、財務基本金募集運動に就て　守屋姉說明

二、慈愛館の善後策について　小崎夫人說明

前回の報告、來る廿日慈愛館理事會を開き相談すること。

三、五錢袋の運動を全國の處女會に普及すること。　久布白姉說明

五ヶ年後の今日、始めて全國の處女の間に此運動の擴がることを感謝し之に就て協議せり。各地の處女會と矯風會との連絡をとる必要、各支部より最寄の處女會に行きて話をなす必要等ありとの守屋姉の提議あり。

四、臺灣訪問について

報告

一、大阪における會頭歡迎會について　渡瀬夫人

二、九州部會報告　守屋姉

三、市民の夕、（分配金三百廿圓を得たり）　千本木姉

四、明治神宮鎮座祭にあたりて、

（い）婦人社會問題研究會を扶けて禁酒宣傳のビラを播布せり。

（ろ）神輿をかつぐ人々が酒を用ひざるやう禁ぜられたしとの請願を警視廳に提出せり。

皆川姉の祈を以て閉會。

婦人ホーム發入會　拾月廿三日(土)南海線住吉公園花月亭に於て婦人ホーム發入會を開く、澄み切つた秋空は集ふ人々をして幾倍の元氣を增さしめ、主家より一日の暇を得

九州部會の懸賞文募集

題(甲)酒の害
(乙)海外醜業婦問題

應募規定

(一)(甲)題原稿は廿四字詰十二行二十枚以內。(乙)題原稿は廿四字詰十二行二十五枚以內

(二)甲題應募者は中等程度の男女學生に限り乙題應募者は專門學校程度の男女學生とす。學校名を記す事。

(三)應募文は門司市清瀧門司倶樂部前基督教婦人矯風會九州部會宛とし封筒に懸賞文と朱記の事。

賞（甲）一等　銀牌　一名
　　　二等　銅牌　二名
　（乙）一等　金十圓　一名
　　　二等　金五圓　二名
　　　三等　婦人新報一年　三名

選者　荒川文六氏
　　　宮崎小八郎氏
　　　牛島胡蝶氏

締切　大正十年一月二十日
發表　大正十年四月婦人新報

九州部會

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

て里歸りの心地に集り來る女中等約五十名、林支部長司會の下に讃美歌二七八番合唱、森田夫人路加傳拾五章を朗讀し、司會者の祈禱並に開會の辭ありて後、賞品授與あり終つて一同茶食を喫し、午後は公園の芝生にて、一同打揃ひの運動會ありて大に浩然の氣を養ひ、再び花月亭に歸りて玆にも抱腹絶倒の余興等あり、林依子刀自の女中等に對する奨勵、林支部長の世界日曜學校大會の報告、谷口ますえ姉の女中講習會の報告あり、終つて支那饑饉の爲の義捐金を席上募集し、讃美歌二八〇番合唱の後、支部長の祈禱を以て午後四時悉の中に閉會せり。

（一參會者報）

大阪支部

成瀬非比子

十一月一日午後四時公會堂に於て矢島先生の歡迎會とバザーの慰勞會を兼ねて五拾名の姉妹等と會食す六時矢島先生渡瀬夫人竹崎夫人久布白兄令弟等來會席上林部長に依りてバザーの報告讃美感謝ありのち紹介と歡談の中に食を終る矢島先生には海路幾千里の旅程を終り席温る暇もなくたゞちに旅行の人となりたまひしにもかゝはらず些の御疲労の様もみえず御血色もよく一目にて御勇健に渡せらるゝを御見受申上げて會員の喜び筆紙に盡されずこの會合に丹後縮緬を以て我がバザーを賛助せられし丹後の人木本米次兄三重縣津市の支部長杉ノ上姉京都より不破ゆふ子岩屋三四子の兩姉等わざ／＼先生を歡迎せんとて來阪せられたり前記木本兄にはこの日の二回集會に出席終始會を援助せらる我が副支部長淸水種子姉は矢島先生御壯健の御歸朝を祝ひて歌五首を詠ぜらる午後七時矢島先生渡瀬夫人の公開歡迎會を公會堂大廣間にて開く。

矢島先生渡瀬夫人歡迎會　司會者林支部長

讃美歌三百七十二　青年部　朗讀詩四十六河邊夫人　祈　河邊夫人　開會の辭　林支部長　歡迎の辭　市長代山桝視學　歡迎の辭　大阪朝日新聞社

同　大阪毎日新聞社　同　大阪女子青年會

同大阪禁酒會長菊地醫學博士　同　世界日曜學校視行委員小泉澄三

同　大阪青年會名出牧師讃美二〇三四青年部

萬國矯風大會出席所感　渡瀬かめ子夫人

大會出席の所感と旅行談　矢島會頭

祝禱　名出牧師

この日朝來雨なりしも夕刻晴る會衆は矢島先生の力あるまた諧謔に滿ろお話を一語も聞きもらさじと静聴したり來會者は二千名午後十時閉會す。

矢島先生は明る十一月二日三日の兩日大阪市外の方面に活動せられ三日夜九州方面の支部を訪問に出發せらるゝまた我林支部長には四日夜出發矢島先生と共に門司下の關方面の運動を終りてたゞちに渡鮮十一月下旬歸阪の豫定願くば愛の父よ先生と林支部長の働きの上に天の豐なる祝福をたれ給へ大方の姉妹等祈を以て御援助されんことを乞ふ。

大牟田支部

去る十月三十日及十一月一日兩祝日にあたり市民に我支部の存在を明らかにする爲、又禁酒宣傳資金募集の目的をもて花の日會を催しぬ、天父の御祝福と本部支部諸姉の御祈と御活動により成功裡に終り純益五十七圓餘を與へられ一同感謝に溢る。

十一月十日、吳支部長十時きく子女史を迎へて午後二時よりメソヂスト教會にて講演會開催、女史は連日に亘る御講演に御疲れの御身をもおいとひなく約二時間に亘りて我矯風會の使命の一部につき高調さる。

十字架上に血を流し給へるキリストの犠牲の精神を受けあらゆる愛の修行をつゞけて今日に及び矢島會頭の奉仕の生涯を說き又女史御自身の青年時代より軍人ホームの慈母として兵士達の

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

輿望の的となられし今日までの御經驗且つは現代婦人が神の愛に勵まされて立つべき事を説かれ出席者一同に多大の感激を與へらる出席者五十九名。

（桐山すゑ）

富山支部

十月二十五日午後一時半より役員會を開く。出席者五十名、

議事、

一、役員改定、

瀬川支部長の御辭任を初めとし、他の役員にも缺員ありしに付協議の上左の如く決定し、來二十日の例會にて會員諸姉の御意見を伺ふ事とす。

支部長	坂倉さき子	副支部長	甘粕みや子
通信書記	川村百枝子	記録書記	櫛田千代子
會計	宇田くに子	同	北川和龍子
傳道部長	白石もり子	同副部長	望月兎羊子
風俗部長	谷　靜子	同副部長	水野よし子
教育部長	白石より子	同副部長	阿比留ひで子
交際部長	野本千代子	同副部長	福塲スミ子
財務部長	星かつゑ子	同副部長	見田悦子

二、バザーの件

三、十一月例會を親睦會となす件

右協議終りて一同讃美歌を合唱し、數師の熱心なる祈禱あり、主の禱を以て四時半散會せり。

十月二十八日午後一時半より例會を開く、司會者坂倉姉、出席者十九名、禮拜、前回記録朗讀の後報告に移り、傳道部より十一月祈禱會の議告及び毎日正午に於て本會事業の爲に祈る事は萬國共通の事に付必ず實行されたしとの希望を述べらる。

議事、

一、過般當市立商業學校火災の折、重傷を負ひ遂に死亡したる消防夫の遺族に金品を贈り弔意を表する件可決、

二、財務部より提出のバザーの件は星姉より詳しく説明あり、原案通り實行の事に可決、

三、毎月例會は午後一時半開會、同四時閉會の事に可決、

右終りて、年末年始に如何にして節酒又は廢酒をなし得べきかに就き數師の感話あり　各自實生活上に益する處少からず。讃美合唱、野本姉の祈禱を以て正四時散會す。

此日新入會員四名ありたり。

十一月八日午後一時半よりバザー準備會、及び祈禱會を開く。出席者十二名。

十一月十一日二番町メソヂスト教會に於てバザーを開く、凡て好都合に運び豫想以上の良結果を得たるは感謝に耐へず、決算報告等は本月例會に於て爲さるゝ筈なり。

▲大阪支部のバザー

大阪　成瀬非比子

十月一日は來ました、昨年の年會にてバザーを年中行事の一とするの件を議してよりのち會員の面々は一月頃よりバザーバザーと口々に語り寤時も念頭より離れざる貴き重荷の一なりき會員親睦を祈るは勿論役員諸姉はこのため特に會合し祈りと打合せに時を費されしこと一再に止らず遂に十月一日は來れり、秋天高く晴れ渡り一點の雲もなくかつ今日は我が日本建國以來曾てなかりし國勢調査とて國旗は門並に立てられ天はこの國を特に祝したまふ様思はれ先づ感謝の念にあふれたり會場はと見ば定刻前までに人を以てうずめられ玄關は花種もの類階上は福山物店（物品寄附店）を初めとして呉服や玩具品メリヤスタツ下聖書店もスエナメル器具日曜學校用品蜂蜜石鹸洗粉店三階はタオル半襟や染糸店袋物や南京豆パタコヒー等足袋や紙類店飲食店にはパンキヤラメル壽司しるこライスカレーコーヒー菓子店その他雜穀や本や裁縫用品店小間物や等雜然として一大デパートメントストアの如くその賑ひは筆紙に盡されず店を受け持たれたる姉妹等は自己を忘れての大活動また青年部の姉妹等は前夜おそくまでドウナツを燒き當日の

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

用意をせらるこの努力や思ふべしかくて明る日来場者の一人一人を縫ふて勧めらる、二日を通じて入場者累二千餘名我が大阪の矯風會員一同會長を始め委員も會員も同心一體となりて彼れもなく我もなく只だ一致協力奉仕の二日間を過し成功裏に終りしは實に感謝の外なし。

其結果

一收入總高　壹千九百五拾參圓拾五錢
一支出總高　壹百六拾四圓五拾貳錢四厘
一差引純益　壹千七百八拾八圓六拾四錢六厘

決算後收入　參拾圓拾錢

財務部長帶刀、坂部の二姉を始め年中、バザーの志し給ふて庭園に花を植え水灌ぎ、奉仕のためにいそしみ給ひ、各教會の方々の夫々、切符賣、店開き、二日間の活動、愛しき結晶體、感謝は筆に盡し難し諸姉の勞を慰め給へ。

弘前支部

十月八日午後二時より會堂樓上にて例會此春以來保養中なりし支部長は久々にて出席され本部よりの通信及び新報誌上記載の氏國大會の狀況も詳しく語られ一同深く興味を覺えて感謝せり、會頭師朝の日本部にて唱はれし讃美五番を唱ひて常時を偲べり。暴風雨にも係らず十六名出席。會長は全快祝として慈善部に金員を寄附されたり。

水戸支部

十一月十三日バプテスト教會にて例會。午後一時より救濟部主催の集會を開き、各部報告の後クナゲツト先生の少女救濟に關する有益なる御奬勵を伺ひ二時半散會、出席八名。

靜岡支部

十月の例會にて在米廿年後歸朝されし淸水牧師の有益なる感想を伺ふ、吾邦人の米國人に比して常識の乏しきと社會奉仕の念の薄き事等に付き頗る感動を與へられたり。出席三十餘名。

十一月例會は仕事部の收入報告講話會開催、其他に一二件を議し終りて一同仕事の手傳をなす。

仕事部は石井姉熱心に擔當され川村、小林、坂口其他の有志毎月一回若くは二回會合し家庭に必要なる物品例へば割烹着の如きものを製作す、但し昨年は手提袋人形の衣裳等を造りて着裝し會員の御知人方在米せらるゝを幸ひ托して米國に送り頗る好結果を納めたり。

丸龜支部

十月廿二日午後二時より組合教會にて支部設立記念會を開く。數名の新に次で青野牧師の有益なる御話ありき。傳道部の報告ありて後懇談し直に精神上に益せられたり、役員八名出席、青野姉は感想に充ちたる送別の辭を述べらる。三名の熱心なる新ありき。

高知支部

去る八月縣下幡多郡に於て再度出水のため被害夥しく當局にても隨分御骨折ありしも皆金員米等故我等は防寒の爲にもと思付き好結果にて五千餘點の古着を集め十月五日目的地に發送せり。荷造の勞及び運賃の凡ては野村組の御寄附を得しもの感謝に堪へず。

天長節を期して、殊れて本會資金のために會員協力一致造り居りし花を賣れり。花の日會は當市に於ける最初の試故氣遣ひしも午後二時迄にはすでに四千三百個を賣り盡すの盛況なりき。

東京 麴町支部 千駄ケ谷支部

大正九年十二月二日本部會館にて、矯風會創立記念日を祝し併る後渡英代員ガンドレツト恒子姉を歡迎す、同氏の興味深き報告の御演説あり。終りて醫師田中重平氏の積極的健康法について有益なる講話あり一同大に益を得て散會す、會集五十餘名當日の主催は麴町及び千駄ケ谷支部聯合なり。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

says the hotel business will be destroyed with the saloon eliminated.

But above all we have done this: We people in this country are great admirers of good King Solomon. He issued an injunction to his son. He said, "My son, look not upon the wine when it is red." It took the American people several hundred years to realize that that injunction of Solomon's was really along the line of wisdom. We compelled our young people to look upon the wine, and upon every street corner we had advertisements of it and everywhere our boys went they looked upon it. *Today the boys can go from coast to coast—can journey from the Gulf of Mexico to the Dominion of Canada—and they will not look npon the wine when it is red.* If that does not mean something worth while I don't know anything about it. How do they sell liquor today? Why most of them keep it in a pitcher down under the counter, and if the right man comes along he can get it, but no boy can get it. I cannot get it myself. It is different, entirely different from other days.

Social Aspects of Drinking Now Out of the Way.

Another thing we have done is to remove the social aspect of drinking. I have always maintained that the drink evil is due largely to social conditions. No boy will today invite another boy to go into a saloon and take a drink with him. How did most men start drinking? By someone saying to them, "Let's go in and have a drink and have a good time." That isn't being done any more. There is today no social aspect to the saloon. I have a boy of twenty. I send him everywhere and I have no more uneasiness about that boy's drinking intoxicating liquor than I have that he will drink poison. There is not one chance in a hundred of his going the downward road as things are now.

And then we have removed the recruiting stations for drunkards. Before prohibition went into effect there were recruiting stations everywhere and as some poor drunkard passed into a drunkard's grave, a boy took his place. That isn't done any more. There are no recruiting stations, and when this generation passes out and another generation comes on the problem will be solved. You will not know this country in ten years when a new generation has grown up.

One thing we need mightily is a strong public sentiment in every community that will compel enforcement of the law. WE NEED A HEALTHY PUBLIC SENTIMENT, NOT LATENT BUT PATENT PUBLIC SENTIMENT.

Personals.

One of our honored Temperance workers, Mrs. Wyckoff passed away the end of October, called suddenly to her eternal home. She was a member of the Board of Directors of the Jiai Kwan and also of the Executive of the Foreign Auxiliary of the W. C. T. U. Mrs. Wyckoff came to Japan in 1881 and has been greatly interested in all forms of Temperance and Social Service work she was very faithful in her attendance at any executive meetings with which she was connected.

Mrs. J. K. McCauley sails for home, December 4th. She came to Japan in 1880, so she has been 40 years in the work. She is going home on furlough but is probably not returning. She has taken a very warm interest in Temperance work, being a member of the Board of Directors of the Jiai Kwan and for a number of years, the superintendent in charge. We shall greatly miss these honored workers.

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

No. 280. December 1920.

FUJIN SHIMPO

"HIS LAMPS"

" His lamps are we,
To shine where He shall say,
And lamps are not for Sunny rooms,
Nor for the light of day.
But for dark places of the earth,
Where shame and wrong and crime have birth;
Or for the musky twilight gray,
Where wandering sheep have gone astray;
Or where the light of faith grows dim,
And souls are groping after Him;
And as sometimes a flame we find,
Clear shining through the night
So bright, we do not see the lamp,
But only see the light,
So may we shine—His light the flame—
That men may glorify His Name!"

Some Definite Accomplishments as the Result of First Year of National Prohibition in U. S. of America.

(Excerpts from Address by FEDERAL PROHIBITION COMMISSIONER JOHN F. KRAMER, Delivered at Fifteenth International Congress Against Alcoholism).

We had been striving for prohibition for three-quarters of a century, and finally sentiment became sufficiently strong to have prohibition written in the Constitution. That did not mean that the sale, manufacture, exportation, importation and transportation of alcoholic beverages would immediately cease. Two thousand years ago Jesus Christ said, " Go ye into all the world and disciple all nations." That hasn't been obeyed or fulfilled yet. If we had heeded that injunction we would not have these great problems facing us today. Great reforms move slowly. If I did not keep that thought in mind I would be back in Mansfield, Ohio, tomorrow.

Prohibition is the Elimination of Temptations to Drink

Another fundamental principle I find helpful to remember is that there never was a law enacted or a constitutional provision adopted that so radically changed the civic and economic affairs, the social conditions and the personal habits of a people as the prohibition law. We have had some laws, and amendments to the constitution that brought about great changes, but they did not compare with the changes that took place when we wrote prohibition into the constitution of the nation.

I want to say just here that prohibition is not a state or a condition. You cannot say of prohibition that yesterday it was not and today it is, or that last week it did not exist and this week it does. *Prohibition is a growth. It is the Elimination of those thnings that make it easy to create an appetite for strong drink and the creation of those things that make it easy to prevent the growth or an appetite for strong drink. It is the passing off the stage of action of one generation and the entry upon the stage of action of an other generation.*

In the first place we have established the proposition that the revenue from the saloons is not necesary to run our government.

We have established the proposition that the elimination of the saloon does not interfere with business in the least. There are no empty rooms or houses for rent, and rents are higher than have ever been heard of in this country, and nobody comes around any more and

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

診察毎朝（但祭日及日曜日の他）
院長診察月木金午前及木午後六時
林、峯間、兩副院長は當院に在勤

東京麴町區三番町三十番地（市ケ谷見附上）
電話 九段（六二番 六六三番

東洋内科醫院

院長 醫學博士 高田畊安

電話 ちがさき 二番

南湖院

相模國茅ケ崎海濱（從停車場約半里）
河野、高橋兩副長は目下當院に在勤
院長診察土曜日午後、入院診後應需
診察毎日午後（但、祭日及日曜の他）
◎募看護婦志願者及雜事婦

百科全書を兼ねた(大正十年)

ライオン當用日記

(四六判總クロース体裁最も優美
定價金一圓二十錢也
送料地方十錢市内六錢)

ライオン齒磨本舖廣告部
東京本所區外手町
振替口座東京四八三五五番

謹賀新年

大正十年一月一日

ライオン齒磨本舖
株式會社小林商店
東京、大阪、名古屋

ライオン齒磨

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

復刻版 婦人新報 第5回配本〔第25～30巻〕

1985年12月25日 発行

定価 60、000円

発行者 船橋 治

発行所 不二出版(株)
東京都文京区本郷5-28-3
〒113 ☎03(812)4433

印刷所 ワールド印刷

製本所 青木製本

乱丁・落丁はお取り替えいたします。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

UC-NRLF
B 4 212 023

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA